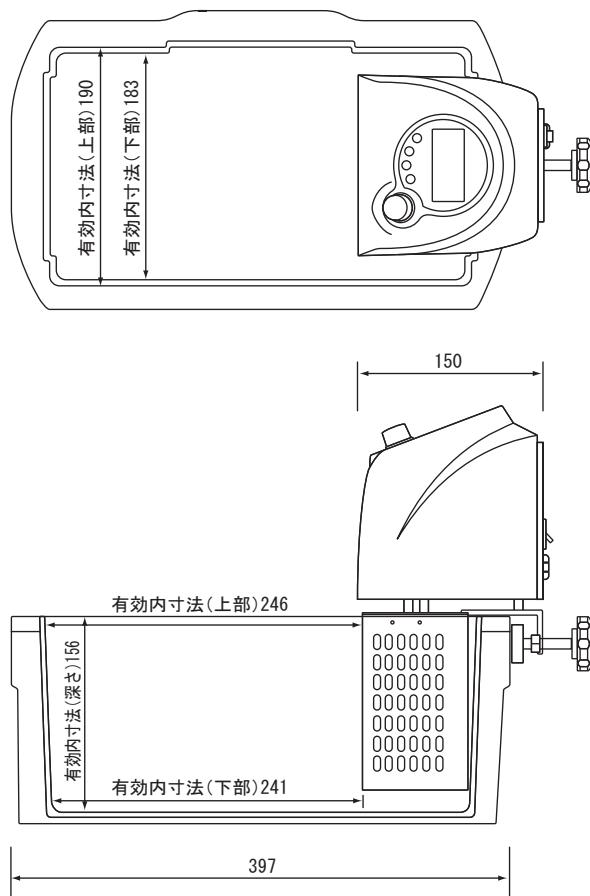


■サーマックス

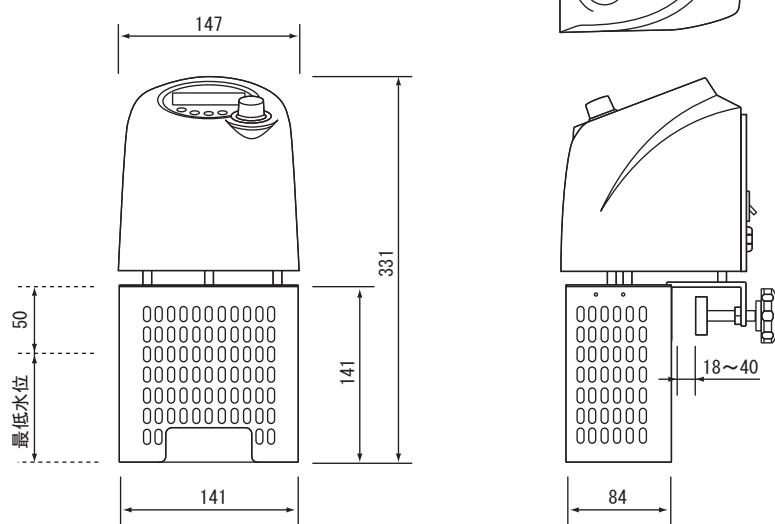
■外形寸法図

(1-4594-01~03)

(単位 : mm)



(1-4594-04)



■エラー表示一覧

エラー表示	原因・症状	対策・処理方法
Open (点滅)	入力センサの断線またはセンサーが接続されていない	ご使用をやめて電源プラグを抜き、お買い上げの販売代理店または弊社カスタマー相談センターまでご相談ください。
HHHH (点滅)	測定したセンサー入力温度が温度設定範囲を超えている	
LLLL (点滅)	測定したセンサー入力温度が温度設定範囲未満	試料の温度が温度設定範囲になるまで待ってから運転を開始してください。
Err0 Err1 Err2	内部制御回路の故障	ご使用をやめて電源プラグを抜き、お買い上げの販売代理店または弊社カスタマー相談センターまでご相談ください。
上記以外の表示		

■トラブルシューティング

修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

現象	確認と処置
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> 停電・ブレーカー等を確認し、電源コンセントに電気がきている事を確認してください。 電源プラグがコンセントに完全に差し込まれているか確認してください。 本体電源スイッチがONになっているか確認してください。
温度設定ができない	<ul style="list-style-type: none"> Key Lock(キーロック)されていないか確認してください。 タイマー機能またはプログラム機能がONに設定されていないか確認してください。 スタート/ストップキーを3秒以上長押ししてください(長押しする事により設定温度の確定と運転の開始を行います)。
温度がうまく制御されない	<ul style="list-style-type: none"> 外部センサーをご使用の場合、センサーの位置が適正にセットされているか確認してください(TM-3オプションセンサーをご使用の場合)。 LCD表示部にエラーコード表示が出ている場合は、エラーコードに従い問題を確認してください(機能説明のエラー表示をご参照ください)。 各モードの設定値の値が適正にセットされているか確認してください。 機器の周辺に強い高周波ノイズを発生させる機器が設置されていないか確認してください。 工場出荷時の温度制御は比例動作(P動作)となっております。 お客様の使用条件下にあったP, I, d値の設定またはオートチューニング機能をご利用ください。 本装置の能力に応じた被対象物での試験を確認してください。 液面(液量)の変動がないか確認してください。 槽内液量および攪拌状況が適正か確認してください。 周囲環境条件が適正か確認してください(温度差が激しい等)。
タイマー運転ができない	<ul style="list-style-type: none"> セットアップモードでタイマー機能が正しく設定されているか確認してください(プログラム機能設定がONですとタイマー機能は働きません)。 オートチューニング機能がOFFである事を確認してください。 時間設定が適正か確認してください(最小設定単位は1分単位です)。
プログラム運転ができない	<ul style="list-style-type: none"> セットアップモードでプログラム機能が正しく設定されているか確認してください(タイマー機能設定がONですとプログラム機能は働きません)。 オートチューニング機能がOFFである事を確認してください。 プログラムの各設定値が正しく設定されているか確認してください。
オートチューニングできない	<ul style="list-style-type: none"> セットアップモードでタイマー機能・プログラム機能がOFFになっている事を確認してください。 セットアップモードでオートチューニング機能がONに設定されているか確認してください。 本商品の能力に応じた対象液体での試験状態であるか確認してください。
ヒーターに通電しない	<ul style="list-style-type: none"> フローツイッチが正しく働いているか確認してください(TM-1を除く)。 温度過昇防止スイッチの設定値が適正であるか確認してください。※1 温度過昇防止スイッチのリセット状態を確認してください。※1 リセット処理を行った場合は電源を再投入して運転してください。 (※1 TM-3・4の場合) 使用温度範囲内の運転である事を確認してください。
攪拌できない	<ul style="list-style-type: none"> 攪拌翼に異物やゴミが付着していないか確認してください。 攪拌翼の吐出口が適正であるか確認してください(TM-4を除く)。 流量調節板が全閉状態になっていないか確認してください(TM-4を除く)。 ポンプ能力にあった液量や液体であるか確認してください。 液槽内に攪拌の障害になるものがないか確認してください。
通信がうまくいかない(TM-3の場合)	<ul style="list-style-type: none"> 付属のCD-ROM内にある「通信ソフト操作ガイド」の通信設定の「トラブルシューティング」をご参照ください。

※以上の処置でも故障が直らない場合は使用をやめて電源プラグを抜き、お買い上げの販売代理店
または弊社までご相談ください。